

18. ミズトラノオ（シソ科ミズトラノオ属）

Eusteralis yatabeana (Makino) Murata

2014年9月

日当たりのよい湿地に生育する多年草で、播磨地域はため池の湿地に見られます。細長い地下茎により群生し、地上茎は軟らかく下部は這い、直立した茎はほとんど分枝せず、高さ 30～50 cm になります。葉は線形で 3～5 個が輪生し、長さ 3～7 cm、幅 2～7 mm です。花は 8～10 月ごろ茎頂に小さな花が密に集まった花穂をつくります。花色は淡紅色で、突き出た雄ずいを含めると長さ 7～8 mm で一花は小さいのですが、密生した花穂は美しいものです。分布は本州、四国、九州、朝鮮で、全国的に生育地の少ない植物で、兵庫県でも記録は但馬や丹波、播磨地域に点在する程度（福岡ほか：兵庫県産維管束植物 6）で、現在見られるところは加西市や三木市などわずかです。兵庫県版レッドデータブック 2010 の B ランク、近畿版レッドデータブック 2001 の A ランク、日本の絶滅のおそれのある野生生物第 4 次レッドリストは VU ランクに位置します。類似種にミズネコノオ (*Eusteralis stellata* (Lour.) Murata) があります。生育環境は田んぼや湿地ですが、ミズトラノオとの違いは本種は一年草で、茎の中央部から多数の枝を出すことです。葉は線形の 3～6 個が輪生し、長さ 2～6 cm、幅 2～4 mm です。花は 8～10 月ごろに枝の先に密生した花穂をつけます。ミズトラノオ同様、ほとんど見ることができない植物で、兵庫県では加西市や丹波に生育地がある程度です。兵庫県版レッドデータブック 2010 の B ランク、近畿版レッドデータブック 2001 の準ランク、日本の絶滅のおそれのある野生生物第 4 次レッドリストは NT ランクに位置する植物です。



ミズトラノオ



ミズネコノオ